

かわさき 議会の情報

No.202

発行日 / 平成28年4月30日
発行 / 川崎町議会
編集 / 議会広報編集委員会



「ぴかぴかのいちねんせい」

「チョコえもん」



27P

自然の恵に感謝
今からなじよする？

16P

私たちの願いを
前川小校外学習

15P

町民ニーズに応えるために
要望決議

6P

新年度予算過去最高額に

2P

新たなスタート
議会構成

4月 会 議

信頼される議会運営を

4月4日および6日、一般選挙後の初議会が招集され、議長・副議長の選任、各委員会の構成等が決まりました。

議長選挙には2人が立候補し、所信表明後に選挙が行われ、投票の結果、眞壁範幸議員8票、佐藤新一郎議員5票、無効投票1票で、眞壁範幸議員が議長に、また、副議長には1人が立候補し、所信表明後に指名推薦され、遠藤美津子議員が選任されました。

スタート



第23代 議長
眞壁 範幸

議員改選後の議会構成において、議員各位のご賛同を賜り、議長の要職に就任させていただくことになりました。身に余る光栄であると同時に、職責の重大さを痛感し、決意を新たにしているところです。

さて、町を取り巻く環境は、少子高齢化社会への対応はもとより、基幹産業である農業や観光、商工業の振興など、課題が山積しています。議会としても福祉の向上と生活の安定、そして住みよいまちづくりと議会活性化に取り組まなければならないと考えています。

広く町民の意見を聞き、町民の目線に立ち、中立公平を旨とし、皆さまに信頼される議会運営に努めてまいりますので、重ねて皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

総務民生委員会

委員長	佐藤 達也	総務課、税務課、地域振興課、会計課、町民生活課、保健福祉課、病院等を調査・審査する委員会です。
副委員長	眞幡 善次	
委員	丹野 雅昭	
委員	佐藤新一郎	
委員	遠藤美津子	
委員	佐藤 昭光	

町民広聴委員会

委員長	神崎 安弘	議会活性化、報告会、勉強会、町民への情報の提供並びに広聴に関する事項を調査する委員会です。
副委員長	的場 要	
委員	佐藤新一郎	
委員	佐藤 達也	
委員	石野 博之	
委員	眞幡 善次	

新たな新

議 会 構 成

女性視点も取り入れながら



第22代 副議長
遠藤 美津子

議員の皆さまからのご推挙を賜りまして、副議長
の任を拝しましたことは、誠に身に余る光栄に存じま
すとともに、心から厚く御礼を申し上げます。また、同
時に責任の重さを痛感いたしております。
今後は眞壁議長を補佐申し上げ、皆様方のお力添え
をいただきながら、円滑なる議会運営と女性としての
視点も取り入れながら、議会のさらなる活性化に誠心
誠意取り組む考えです。
今後とも皆様方のご指導とご協力をお願い申し上げ
まして就任のあいさついたします。

産業建設教育委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
高橋 義則	大沼 大名	神崎 安弘	生駒 純一	的場 要	石野 博之

農林課、建設水道課、
学務課、幼児教育課、生
涯学習課、公民館、農業
委員会等を調査・審査す
る委員会です。

議会運営委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
眞幡 善次	石野 博之	佐藤 達也	丹野 雅昭	神崎 安弘	生駒 純一

議会の運営やあり方
を調査研究し、適正で
円滑な運営を行う委員
会です。



議長 眞壁範幸
当選4回(66歳)

①住民の立場に立つて、一人ひとりの声を町政に反映させ、若者が定住できる、活力ある住み良い、まちづくりを目指します。

- ②・教育の充実と子育て支援
- ・商工業の支援と雇用創出
- ・少子高齢化対策の推進
- ・286号早期完了の促進
- ③スポーツ観賞、ドライブ、山登り



丹野雅昭
当選11回(71歳)

①みちのく杜の湖畔公園をはじめ、多くの観光資源をかかえる資源豊かな町であります。こうした資源を活用するためにも、地場産業の振興に努めます。

- ②さまざまな地場産品を活用し、新たな価値を創り出し、特産物の開発に努力し、地域活性化の実現に努力します。
- ③山菜採り



生駒純一
当選5回(65歳)

①町民に素早く反応し、町民と町政のパイプ役となり、また若者が誇りを持つ新しい町づくり。

- ②・小中学生の国際交流
- ・農畜産物のブランド化
- ・議員定数削減
- ③狩猟



石野博之
当選3回(56歳)

①川崎町の自然と伝統・文化を大切に、時代に残り残されない郷土の発展と、全ての町民が安心して暮らせる町づくりを目指します。

- ②川崎町の木材・飲料水を活用した産業や自然を生かした体験型観光の育成を推進します。
- ③ゴルフ、カラオケ



副議長 遠藤美津子
当選4回(58歳)

①女性の視点を活かして、安心して暮らせる活力のある町づくりを目指します。

- ②・新たな特産品の推進
- ・教育環境の整備
- ・健康生活の推進
- ③音楽鑑賞、ドライブ



佐藤新一郎
当選5回(68歳)

①町政発展を進め、パイプ役として町民の声を反映し、子供たちが誇れる郷土川崎町を推進し、誠心誠意働きます。

- ②・国道457号の歩道設置
- ・県道上石丸線の道路拡幅
- ③スポーツ、野菜作り



佐藤達也
当選4回(51歳)

①町民の皆様と対話をもち、町政に反映させ活力ある町づくりを目指して、政策の提言と提案をします。

- ②より開かれた議会を町民目線に立ち、議会運営・議員活動で目指します。
- ③スポーツ、ドライブ



的場 要
当選3回(44歳)

①すべての世代がいいきと「まちづくり」

- ・安心できるやさしい環境を「福祉と教育」
- ・地場の魅力を自慢と誇りに「産業振興」
- ②川崎町の知名度を高めるための「町全体ブランド化」
- ③野球、スキー、映画鑑賞

私たちはこのよくなまなびを

目指します

各議員の抱負をお伝えします。

- ① 町政に対する基本的信念
- ② 任期中に実現したいこと
- ③ 趣味



眞幡善次
当選2回(65歳)

- ① 住民参加による町政発展を目指し、是々非々で取り組みます。
- ② まちおこしのためのマラソン大会の開催

- ・ 起業家の育成と支援による就労の場確保
- ・ 青根地区・小野地区のさらなる活性化
- ③ 史跡めぐり、音楽鑑賞



神崎安弘
当選2回(57歳)

- ① 「初心を忘れず」多くの町民の皆様のご思いを活かし、常にプラス思考で、子どもから高齢者まで住んで良かったと言える町づくりを目指します。

- ② 農林、商工、観光等の振興
- ・ 教育環境の整備
- ・ 健全財政の確立
- ③ スポーツ鑑賞、歌唱



佐藤昭光
当選1回(67歳)

- ① 町民主役、りんげん 綸言汗の如し(うそをつかない)の精神で、町の停滞に歯止めをかけ、浮上に向け、土台石となるべく最大の努力をします。

- ② 国道286号の高規格化整備着手、観光立国等多くの懸案の具現、定数減も視野に入れています。
- ③ 野球を中心とする球技、音楽、読書



大沼大名
当選1回(64歳)

- ① 財政は有限・知恵は無限です。皆様方の声を大切にし、共に知恵と汗を出し合いながら、より良い住民サービス向上を目指します。

- ② 生活福祉医療環境の向上
- ・ 子育て支援の推進
- ・ 観光と農業の振興
- ③ スキー、合気道



沼田長一
当選1回(63歳)

- ① 町民の皆様との対話を重視し「安全で安心して暮らせる町づくり」を目指します。

- ② 防災と減災の促進
- ・ 高齢者対策
- ・ 鳥獣被害対策
- ③ 舟釣り、家庭菜園、山菜採り



高橋義則
当選1回(60歳)

- ① 住民のみなさんの声を町政に届け、行政をチェックし建設的な対案を示し、共同の力で実現し、みなさんにお知らせします。

- ② 多くの皆さんと対話し、意見を町政のために実現します。
- ③ 音楽鑑賞

監査委員(議会選出)



的場 要 議員

仙南地域広域行政事務組合議員



神崎安弘 議員

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員



眞幡善次 議員

H28 一般会計・特別会計

89000万円

3月 会議



事業 アップ

町営住宅整備事業
4億6583万円



町道整備事業 1億1689万円

3月会議は、3月2日から10日までの会期で開きました。町より提案された議案は、条例制定・改正案件12件、平成28年度予算案件8件、平成27年度補正予算案件7件、人事案件11件。また、議員発議による案件3件を審議し、すべて原案どおり可決しました。一般質問では4人が町政を質ただしました。

可決

予算総額 過去最高 95億

学校給食費軽減事業
850万円



学校トイレ改修事業
4165万円



有害鳥獣対策事業
1449万円



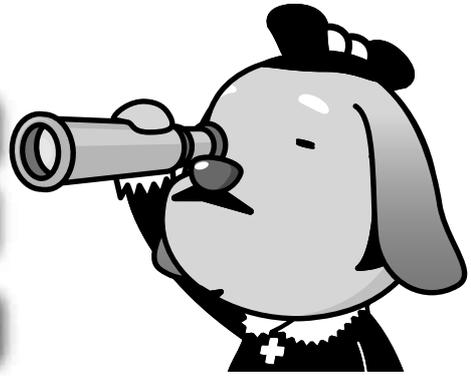
主な ピックアップ



移住定住促進事業
528万円



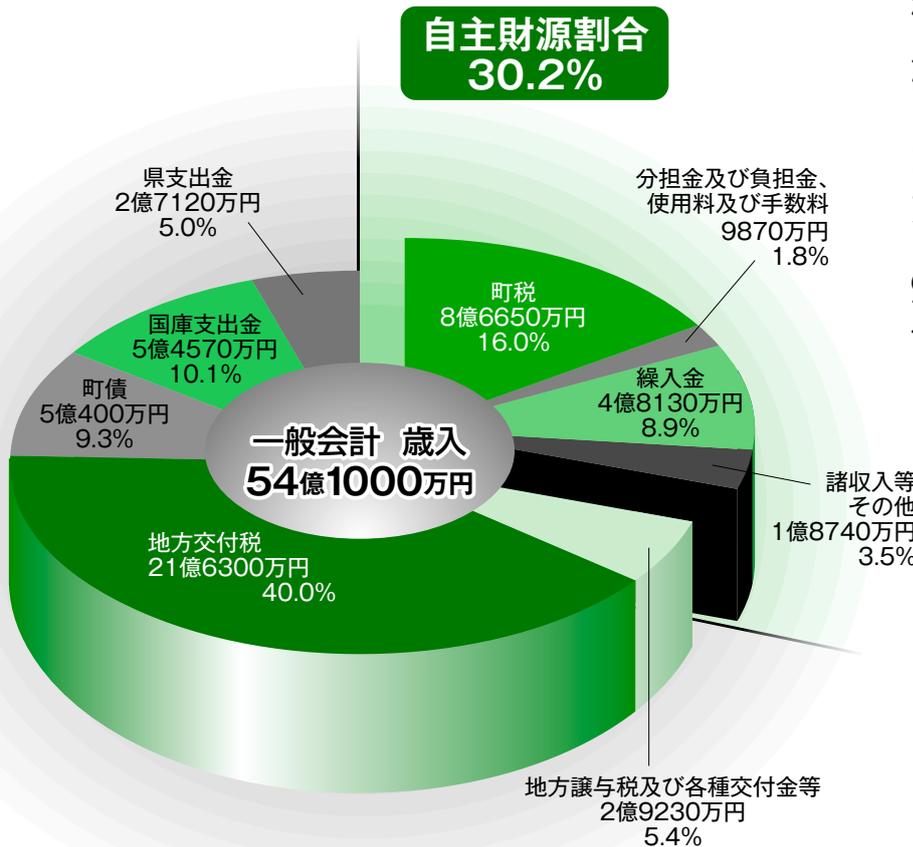
を検証



■歳入予算の概要

前年度当初予算比で3億円、5.9%の増加となりました。歳入は、町営住宅整備事業や町道改良事業の増加で、財源とする国庫支出金や町債（借金）の構成割合が前年度と比較し増加しています。町税や使用料、繰入金（基金の取り崩し）などの自主財源割合は、前年度より6.7%減少し30.2%となりました。これは、普通建設事業費以外の事業費がおおむね減少したことで財源不足が解消し、基金の取り崩しが少なくなったことによるものです。

自主財源割合
30.2%



依存財源割合
69.8%

H28 特別会計予算

国民健康保険特別会計	11億5287万円
後期高齢者医療保険特別会計	8832万円
介護保険特別会計	10億2647万円

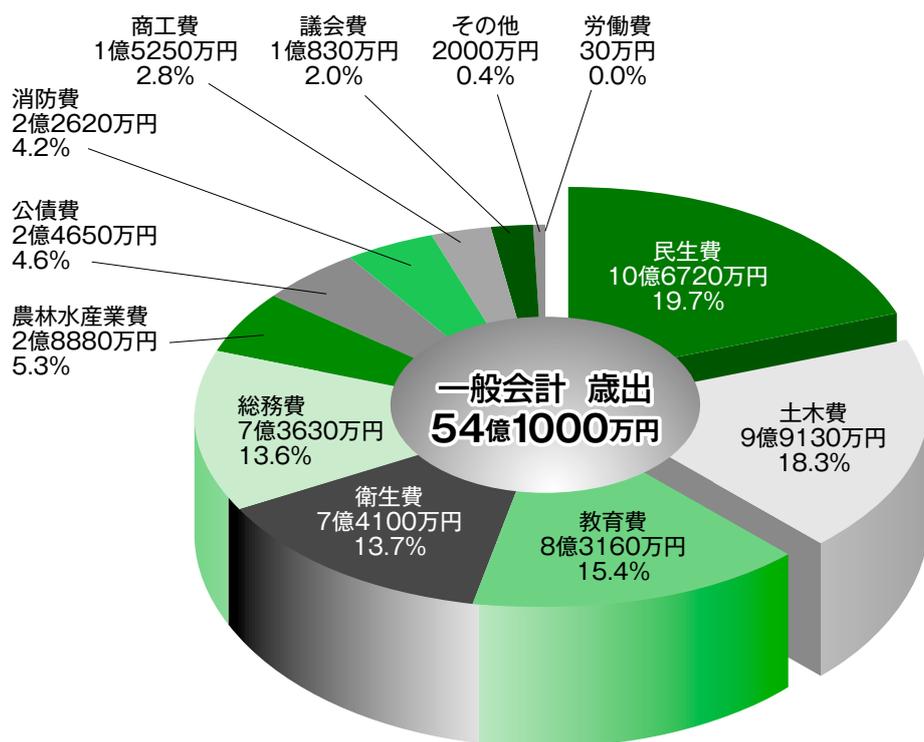


▲支倉地区敬老会

一般会計 54億円のなかみ

■歳出予算の概要

歳出は、大きく3項目の重点政策事業「人口減少・少子化対策」「産業振興の充実」「生活基盤・インフラ整備の充実」が計上されています。
また、土木費が町営住宅整備事業と町道改良事業により前年度と比較して大幅に増加しています。なお、最も高い割合を占める民生費には、国の社会保障制度の拡充による経費のほか、町が単独で実施する子育て支援対策の経費も含まれています。



▲国保川崎病院

温泉事業特別会計	1352万円
公共下水道事業特別会計	3億8358万円
病院事業会計(支出)	9億1635万円
水道事業会計(支出)	5億9798万円



使用料の滞納は

沼田(善)議員

問 今年、新たに住宅建設が予定されています。これまでも使用料は滞納のないように強くお願いしてきました。現在の状況を説明願います。

少しずつ減っている

建設水道課長

答 中原住宅は、26年度当初滞納者6人、27年度3人、今年2月には2人まで減っています。建設と同時に未納はなくなるよう、現在、滞納整理を進めている状況です。

総括質疑

平成28年度の各種会計当初予算は、各会計の概要説明があった後、予算に係る総括質疑が行われました。質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

総括質疑

介護保険の県下一本化は

沼田(善)議員

問 国保は近々、県全体で運営されますが、介護保険も県下統一する動きはないのですか。

広域化の予定はない

保健福祉課長

答 平成30年からは国保が財政面では県下統一となります。現在は、介護がそういった県下とか広域化に動くというような話は受けていませんので、様子を見ていきたいと思います。

訪問診療の現状は

沼田(善)議員

問 訪問診療は患者さんが何人いるのか。現状をお聞かせください。

月平均30人

病院事務長

答 訪問診療は1月末現在で一般の訪問診療が54人、施設外来訪問診療は216人で、1カ月当たりの平均患者数は30人で実績を出しています。月21人外来診療をすれば、収支のバランスはとれます。

受益者負担の軽減を

神崎議員

問 用排水路の改修計画対応において、国、県の事業で受益者負担が少なくなるように、計画的に要望していかねければならないと思います。

計画的に要望

農林課長

答 町・地元の負担を少なくするため、各種補助事業を取り入れて進んでいるところです。今後も長期的な計画のもと要望していく考えです。

青根に桜の植栽を

沼田(善)議員

問 前川小学校児童より、青根地区に桜の植樹推進の提案があったが可能ですか。

駐車場整備と一緒に

町長

答 青根に桜の木、大変いい考えだと思えます。今度、青根の駐車場やトイレと一緒に整備し、桜の木も植えたと思います。





通年利用を

眞幡議員

問 セントメリースキー場の通年利用を検討していただきたい。冬はスキー、夏はパークゴルフ場と言ったように。

指定管理者と協議

町長

答 以前、パークゴルフ場との要望がありました。コースとか維持費とか難しい面も多々あります。指定管理者の考えしながら、今後協議しながら考えていきます。

新年度予算

ここが聞きたい

解体場の設置は

眞壁(範)議員

問 有害鳥獣駆除後の解体処理は、現時点で問題となつていますが、設置は考えていますか。

29年度にも

町長

答 28年度中に計画を立て、早ければ29年度にも建設しなければなりません。

産業振興に不安

神崎議員

問 予算審議の中で基幹産業である農林業関係予算が少なく感じますが、産業振興を考えると不安です。どのように考えているか尋ねます。

優先順位をつけて

町長

答 そのときの状況で、国、県が助成金を出し、事業も出てきます。限られた財源を生かしながら、優先順位をつけて取り組むたいと考えます。

私的か公務か

佐藤(達)議員

問 広報費に年388万円余りを計上し、広報紙を町が能動的に町民に配布しています。昨年の7月号に、町長が我々・青根温泉に宿泊した記事が掲載してありました。これはプライベートですか、公務ですか。

私的なものです

町長

答 我々・青根温泉の良さをアピールするために、プライベートで宿泊し、記事にしたものです。

売名では

佐藤(達)議員

問 プライベートの記事を掲載することは、売名ではないですか。広報紙は、公平なもので町民に知っていただくためのもので、軽率ではないですか。

今後は慎重に

町長

答 青根の活性化をという思いが先に立ち、偏りすぎた記事だったと反省したいと思えます。今後は慎重に記事を選びたいと思います。



委員会 詳細審査

平成28年度の各会計予算を審議するため特別委員会を設置しました。委員長に遠藤美津子、副委員長に石野博之を選任し、3月7日から9日にわたり詳細に審議しました。そのなかで出された質問の一部を紹介します。

▼消防団役場班



▲前川西部の防火水そう



▲自主防災の研修会

総務課

今後の予定は

的場委員

問 今後、自主防災組織が設立される地区はありますか。

答 現在は9地区で自主防災組織が設立されています。今後、新たに川内地区で設立される予定です。

総務課

新たに川内地区で設立

入団促進に向けて

佐藤(達)委員

問 消防団員等が年々減少しています。入団促進に係る予算もないようですが、加入促進に向けた取り組みはありますか。

地道な加入促進に努力

総務課

答 予算措置はしていませんが、昨年4月から町職員12人を団員として配備しています。

総務課

加入促進として、成人式でPR活動を行っています。また、活動服更新に伴う効果も期待されます。

防火水そうの増設は

神崎委員

問 防火水そう設置に係る要望は多いと思います。設置箇所を3つにするなど、設置する箇所を増やすことはできますか。

財政を見ながら進める

総務課

答 以前に3基設置したこともありましたが、補助金の枠が決まっています。補助金以外は主に起債となります。財政担当とも協議しながら進めたいと思います。

税務課

税の誤徴収対策は

佐藤(達)委員

問 誤りによる税徴収などの対策は、マンパ

ワーによる対応が一番だと思いますが、どのような対策をされていますか。

より多くの目で対応

税務課

答 チェック体制の強化として2人よりも3人、より多くの目で確認等を心掛け、できるかぎりミスのないように努めています。

徴収移管の効果は

沼田(善)委員

問 仙南地域広域行政事務組合への徴収移管の効果はどうか。

アナウンス効果に期待

税務課

答 平成28年度は4人の職員と1人の嘱託職員で徴収業務を行っています。アナウンス効果、宣伝効果も期待できます。

予算特別 3日間



遠藤美津子委員長

建設水道課

町営住宅建設の詳細は

佐藤(達)委員

問 町営住宅建設費4億円となっておりますが、建物はどのようなようになっていきますか。

2戸1棟で11棟

建設水道課

答 木造平屋2戸1棟建て、計11棟を予定しています。建物の詳細は現在設計中です。

町民生活課

いくら負担するの

沼田(善)委員

問 特別交付税で仙南クリーンセンター負担金の経費分が算入されると聞いていますが、建設に係る最終的な町の負担額はいくらになりますか。

7200万円です

町民生活課

答 平成23年度から事業を開始し、28年度完

了となります。負担額は総額で3億5470万円。そのうち震災交付金が2億8270万円、実質町負担額が7200万円の予定です。

地域振興課

委託料は適切か

沼田(善)委員

問 ふるさと納税代行業務委託料289万5000円を計上していますが、ふるさと納税額を上回る経費にならないのですか。

納税額はプラスに

地域振興課

答 ふるさと納税750万円を想定し、その金額の12%分を委託料として支払うのであって、460万円はプラス納税額と見込んでいます。なお、記念品費、発送費用も含んだ委託料です。

イベントの経済効果は

沼田(善)委員

問 観光振興イベントにおいて経済的効果があるのか。地域にお金が落ちるよう工夫すべきです。

効果は出ている

地域振興課

答 少なからず経済効果は出ています。今後、地元出店等も含め対策を講じていきます。

どんな事業ですか

沼田(善)委員

問 地域密着型イベント事業はどのような内容なのですか。

資源発掘や磨き上げ

地域振興課

答 地域単位で資源の発掘、磨き上げを行う事業に充当しています。これまで青根のクリスマスローズ植栽、前川東部の羽前街道まつり、小沢地区の観光スポット

▼北川原山の建設地



▲青根温泉感謝祭



▲町地区夏まつり

▼多目的コート



▲釜房環境浄化センター



▲グラウンドゴルフ大会

トづくり、碁石を楽しむ会などですが、28年度は町内の夏まつりを追加する予定です。

保健福祉課

支給基準は

佐藤(新)委員

問 第3子以降の誕生祝い金の支給基準を尋ねます。

すべて当町で産むこと

保健福祉課

答 1人目から3人目まで当町で産むことです。他市町村で2人産んでいる場合、3人目を産んでも支給できません。

対がん協会だけか

的場委員

問 人間ドックの対応は対がん協会のみになりますか。

複数に依頼

保健福祉課

答 複数の医療機関に依頼する予定です。

生涯学習課

タイアップ可能か

沼田(善)委員

問 運動笑楽校において、大人向け・高齢者向けのプログラムを、保健福祉課とタイアップしてはみてはどうですか。

複合的な取り組みへ

生涯学習課

答 総合型スポーツクラブ運営としての対象の違いや、福祉分野と体育振興上の目的の相違はありますが、多くの町民に参加いただけるよう福祉分野との協議を図りながら、今後のプログラムの整備を進めていきます。

暗いという意見が

的場委員

問 多目的コートの照明が「暗いのではないですか」という意見がありますか。

今後状況を見て増設

生涯学習課

答 照明の必要な明るさは、球技種目や練習に使用するかまたは試合に使用するかなどにより、求められる明るさの度合いが異なります。若干暗いとの認識はしているため、今後状況を見て増設していきます。

温泉会計

花房の湯は大丈夫？

沼田(善)委員

問 花房はなぶさの湯は重要で、枯れてしまうと温泉事業が終わってしまうと思います。万が一のときの工夫を尋ねます。

代替えはない

建設水道課

答 代替えは現在のところありません。ポンプの能力上さらにお湯を揚げることはできませんが、揚げ過ぎると枯渇の恐れがあるので、余裕

を持たせています。温度の調整を行いながら様子を見ています。

下水道会計

計画なぜ見直し

石野委員

問 施設の長寿命化計画は、なぜ見直しが必要なのですか。

交付金確保のため

建設水道課

答 下水道施設は供用開始して30年経過して経年劣化が進み、更新しないと適正な運用ができない状況です。莫大な費用を社会資本整備総合交付金で賄いますが、そのためには長寿命化計画に劣化状況などを記載する必要があります。そのため見直しを行い、交付金を確保するものです。



H28 各種会計に関する



要望決議

① 人口減少に伴う地方交付税の減額により厳しい財政状況が見込まれるので、財政計画を策定するなど、中長期的視点に立った財政運営に努められたい。

② 病院の整形外科の特殊診療については現在週2日となっているが、町民ニーズに応えるため診療日数の増加を図られたい。また、将来的には常勤医師の設置を望む。

③ 町営住宅の建設については、国・県補助等の活用を念頭に、地元産木材を用いるなど地域資材の活用を図られたい。

④ 有害鳥獣対策により捕獲した鳥獣の処理については、周辺環境に配慮するとともに捕獲隊の負担軽減を図る上からも、「有害鳥獣解体場」を整備し、一般廃棄物として焼却処分することを早急に検討されたい。

⑤ 青根温泉の景観整備においては、桜の木の植樹など子どもたちからの提案を取り入れ、観光活性化を図られたい。

⑥ 健（検）診事業の実施については、ピロリ菌検査を取り入れるなど、より町民の健康に寄与できるよう充実を図られたい。

⑦ 町税、各種料金等については、徴収の強化を図るとともに法令等に従い処分整理を徹底するなど、滞納額の縮減に努められたい。



2月15日、前川小学校の6年生5人が町議会を訪れ、議会の目的や町の役割などを学習しました。

前川小学校では、議会や町など行政がどのように機能しているかを見学・体験することによって理解を深め、関心を高めるための校外学習を行っています。

校外学習 実現するために

「会議を進める人は？」

議会の議長

「議員になるには？」

25歳以上で選挙

「町で一番の問題は？」

人口が減っていること



「事例の発表」

アンケート調査での

問題点



景色がいい	6人	前川小校、夕日に夕陽	3人
商店街がある	2人	温泉街にあたりがない理由	3人
歩いてほしい	1人	町全体がら	3人
店が少ない	1人	人が来ない	2人
店がある	1人	子供が少ない	1人
家が近い	1人	店が少ない	1人
人が来る	1人	ちび屋がない	1人
		若い人下がる所がない	1人
		その他	5人

前川小6年生 私たちの願いを

提案 「青根地区の活性化を」



「桜の植樹を」

議会で提案します



4人の議員が質問

町政を問う

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

◆ 神崎 安弘 議員 19

- (1) 少子化対策の検証と今後の考え方

◆ 的場 要 議員 20

- (1) 施政方針「子育て支援の充実」
- (2) ブランディングチームの設置

◆ 佐藤 達也 議員 21

- (1) 子どもたちの学力・体力向上策は
- (2) 企業誘致対策の方針は

◆ 眞幡 善次 議員 22

- (1) 起業家の育成と支援及び地場産業の育成

問

少子化対策の評価は

答

多子傾向は評価に値する

問 町は子育て支援に力を入れており、第1子から祝い金の支給やおむつ購入助成等に取り組んでいます。さらに給食費の一部無料化を実施しようとしていますが、厳しい財政運営の当町で、不足分は財政調整基金を取り崩すことになると思いません。

答 これまでの少子化対策について尋ねます。

問 これまでの少子化対策などの施策をどのように評価しますか。

答 町長

子育て施設の充実、医療費の無料化、誕生祝い金や乳幼児応援助成券の支給、妊婦健診や予防接種助成などの経済的支援。結婚支援事業では3組が結婚。また、15世帯の方に第3子以上が誕生しました。多子傾向にあるのではないかと思っています。

問 このままの推移では基金が底をつくと思えますが、今後も現状と同等の子育て支援を継続していきますか。

答 町長

子育て支援、そして少子化からの脱却が町の今一番大きな課題だと考えています。大変厳しい財政状況の中ではありますが、子育てしやすい環境を提供し、ひとりでも多くの赤ちゃんがこの町に生まれるよう支援は継続していく考えです。

問 出生数が減少の一途であります。この現行の小学校、中学校の体制をいつまで続けていくのですか。

答 町長

各地域の実情や児童生徒数の推移を見据え、国の示す望ましい学級数の考え方を踏まえて、総合的な判断をし、慎重に取り組んでいきます。

問 小規模校だと集団的なスポーツができず、町外へ行ったりすることが懸念されます。財政面なども考慮すると、統廃合など長期的な計画を考えなければならぬと思えますが。

答 町長

スクールバスなどの経費増大などメリット・デメリットを考慮し、検討していきます。



神崎 安弘 議員



▲元気の運動会のような様子

問 公平性を担保せよ！

答 第1子も手厚く



議員 要場 的

問 若い世代の子供が1人の方には不公平感が生まれるのではないかと考えます。例えば公平性を担保するために、こども園の給食無料化などへシフトする方法も考えられると思いますが。

答 施政方針「子育て支援の充実」の中で、学校給食については、多子世帯の経済的負担の軽減という観点から、小中学校に在籍している児童生徒が2人以上いる世帯について、2人目以降の給食費の無料化を図っていくとあります。

答 町長
こども園の給食費については使用料の中に含まれており、所得に応じて利用料が決定することから、難しいものと考えております。

問 第2子、第3子の支援、確かにこれも必要なことです。しかし、第1子支援がしっかりと初めて公平な支援策になると考えますが。

答 町長
今年度から第1子目から誕生祝い金を支給したり、今までは1年間の紙おむつだったものをプラスアルファにして膨らませたり、第1子もある程度手厚くしたいと考えています。

問 官民一体でまちづくりを！

答 必要性も含め検討したい

問 今後さまざまな自治体を取り組むことが考えられる「官民一体のブランディングチーム」を当町でも設置してはいかがでしょうか。

答 町長
まちづくりは目指す姿も手法もさまざまであると思います。そのような中で、ご提案いただいた事業の必要性も含め検討していきたいと考えます。

答 町長
本場に職員の人たち、特に若手はいろいろなことを考えています。若い世代にこういったブランディングチームを組んでもらって、町に対する考えやアドバイスなどを出してもらえれば良いと思います。



▲「浦谷まち・ひとデザインラボ」のメンバー

問 当町にも、町の将来を考えていきたいという若い世代がいらつしゃいます。まちづくりに想いを持った方々とともに役場の同世代の方と是非協力していただきたいと思いが。



▲浦谷町での活動のようす

問 学力・体力を上げる対策は

答 家庭や地域協力が不可欠

問 県小中学校の子どもたちの学力と体力は、全国と比較してよいとは言えない状況です。

町 子どもたちの状況について尋ねます。

答 教育長

学力は、指摘のとおり調査結果が報告されています。

町の平成26年度体力測定の結果は、8種目のうち、4種目は全国平均を上回り、残りは、全国平均を下回る結果となりました。

問 学力向上をするため地域や保護者に向けて取り組んでいる具体的な対策は。

特に、スマートフォンや携帯電話、テレビやビデオの長時間利用視聴については、与え方や約束事を確認していただくように協力をお願いします。

答 教育長

結果を考察・分析し、具体的対応策をまとめた資料を保護者あてに配付、協力を呼びかけています。

問 体力向上をするため取り組んでいる具体的な対策は。

答 教育長

結果を踏まえ、体育主任者研修会を開催しながら、小学校では、週2回のマラソンや縄跳び、中学校は、東北一周・月例マラソンなどの取り組みで体力の向上を図っています。学校を中心として各種団体の協力や支援をいただきたいと思います。

問 施政方針は、昨年引き続き企業誘致に関する方針が示されています。企業誘致は町長の公約の柱であったはずですが、なぜ示さないのか町長の見解を尋ねます。

答 町長

企業誘致は述べてはいますが、今回策定した「まち・ひと・しごと総合戦略」においても基本目標の一つに雇用の場の確保を掲げ、企業誘致のみならず、町内企業の連携や起業の支援なども施策として考えています。今後これらを軸に企業誘致と雇用の場の確保に努めていきます。

問 戦略には、「人・地域づくり、定住、若い世代の支援、雇用の場の確保」が挙げられることから、具体的に示すべきではないですか。

答 町長

指摘のとおりだと思います。以後は、しっかりと示していきます。



佐藤 達也 議員



▲スマホ利用に決まりごとを

問 公約が最優先では

答 総合戦略に示した

問 住みよい魅力ある町を

答 地域振興と子育て支援で



眞幡 善次 議員

高齢者に対する支援体制や子育て支援など、まだまだ十分とは言えませんが、地道な活動が住みよい町、また魅力ある町として町外からの定住化促進にもつながり、人口増加につながってくると思っています。

問 子育て家庭の一層の負担軽減を図るためにも、財源が許す限り全児童生徒の給食費を無料化にすべきと考えます。少子化や人口減少対策の一助になりませんが、町長の見解を尋ねます。

答 町長

今は全ての子供たちの給食費の無料化は、財政的に無理でありませんが、地域振興と子育て支援の町なんだというこでやっていきたいと思います。



▲楽しい給食

問 私の友人も、子供の小学校入学に合わせ、町の空き家バンクを利用して家族5人で当町に引っ越して来ました。これは本当に空き家バンクのおかげだと思えます。今後どのような方向で町づくりをするのか尋ねます。

答 町長

今後、A K Bプラン。Aは秋保、Kは川崎、Bはブラザー、秋保と川崎が兄弟のように仲よくやっていくことにより、いずれ仙台市が膨らんでくると、やはり秋保、川崎、みちのく公園や支倉台等がよくなるような社会になつてくると思っています。

問 起業家の育成と支援を

答 具体的な施策を明記

問 今、川崎町に必要なのは起業家の育成と支援だと思います。特に地場産業を起こそうとしている人には、町としても相談に乗り、また助成金等を出して育成していくことが必要です。それが就労の場、財源の確保にもつながると思っています。町長の考えを尋ねます。

答 町長

川崎町まち・ひと・しごと総合戦略の策定会議の中でも、起業の支援が必要であるとの意見が出され、このたび策定した総合戦略にも具体的な施策として明記したところです。今後進めていく考えです。



▲起業家作製による太鼓

農業委員会委員

3月 会議

11人を選任



補正予算案件7件、人事案件11件の議案を審議し、原案どおり可決しました。

■提案理由
農業委員会などに関する法律の規定により、委員の選任について議会の同意を求めるものです。

氏名	行政区名
大宮 里見	中新町
木村 浅路	川内1
日下ひろみ	川内2
高橋 裕一	支倉下
小原 学	本砂金
平間 正行	本荒町
石井 嘉満	前川東
菅生 貞夫	支倉上
渡邊 一	野上
大宮 正二	立野
大松 一男	川内2

一般会計補正予算

歳入・歳出 **1億8416万円追加**

主な補正内容

- マイナンバー制度セキュリティ強化及びカード交付事務 2752万円
- 分収林立木の売払いによる愛林組合への交付金 659万円
- 年金生活等支援臨時福祉給付金支給事業 4712万円
- 除雪経費(1月豪雪による不足分) 600万円
- 移住総合コンシェルジュ養成・空き家バンクシステム導入・「起業」支援 3910万円

総 額 **51億6153万円**

特別・事業会計補正予算

補正後の会計総額は次のとおりです

- 国民健康保険特別会計 11億0791万円
- 後期高齢者医療保険特別会計 7818万円
- 介護保険特別会計 10億1084万円
- 公共下水道事業特別会計 4億1555万円
- 水道事業会計(支出) 2億7063万円

総務民生委員会 報告

調査日 2月2日

町税等の収納対策状況

滞納者との折衝効果

【調査事項①】

【調査結果概要】

町税の徴収実績を見ると、5年間の徴収率の推移は年々向上しています。県下35市町村中最下位となってい

ます。

26年度の滞納処分（差押えなど）の状況は預貯金3件、還付金35件、不動産・公売が5件の計43件の差押えを実施し、そのうち40

件270万7000円を町税に充当していま

す。また、不誠実な滞納者31件は、仙南地域広域行政事務組合へ移管され、滞納処分などが執行されています。



【委員会意見】

税の公平の観点から、納めるべき税の未納者に対しては今後とも厳しい姿勢で取り組むとともに、徴収することを一番に考え、滞納者との折衝を強化しながら、生活状況、給与・預金調査を行い、なお一層の滞納処分に

力を入れることを望みます。また、生活困窮などにより徴収可能かどうか負担能力を判断のうえ法に基づき対応し、滞納額縮減に努めてください。

【調査事項②】

地域防災計画と拡声放送設備の整備状況

スムーズな情報伝達を

【調査結果概要】

地域防災計画の更新を有効性のあるものにするため、当町における災害の危険性と防災に関する課題を整理し、土地の保全と住民

の生命、身体、財産を保護し、被害を軽減することを目的として、現在、見直し作業が進められています。

防災行政無線（移動系）拡声放送設備の整備については、蔵玉山

の火山活動活発化に伴う防災情報などを、青根温泉地内に迅速かつ正確に伝達する観点から、既存の移動系防災行政無線を活用した拡声放送設備の工事が進められています。



【委員会意見】

地域防災計画の更新が早期に改正され、充実した計画になることを望みます。今後、宮城県などの地域防災計画変更や被害想定が変更された際には、それらの内容を踏まえ、随時に計画の見直しを行ってください。

また、全町的な防災情

報を盛り込んだハザードマップなどの作成・配布をし、防災対策の周知及び防災意識の啓蒙を図ってください。

青根温泉地内に拡声放送設備の工事が進められています。同設備の整備に伴い、スムーズな情報の一斉伝達が行われることを要望します。

産業建設教育委員会 報告

調査日 2月4日

有害鳥獣対策の実施状況

仙南地域全体で連携を

【調査事項①】

【調査結果概要】

当町でも鳥獣被害の深刻化している要因としては、鳥獣の生息域の拡大、狩猟者の減少、高齢化、耕作放棄地の

増加等が挙げられています。高齢化や担い手の不足、水稲や野菜などの被害で営農意欲の減退につながり、野生生物の新たな生息地をつくり出す結果にもなっ

ています。町としては、緊急捕獲活動への支援や進入防止柵への助成を進めながら、駆除と防除の両面から被害対策に努めている現状です。



【委員会意見】

有害鳥獣解体場の整備をすれば、捕獲隊員の負担軽減が図られ、今後の捕獲頭数の増加にも対応できると見込まれます。

また、捕獲隊員の高齢化が進み、新たな隊員の育成が急務となっ

ています。なお、イノシシについては、効果的な捕獲で被害減少を図るため、仙南地域全体で連携をとるなど検討してください。

共同調理場の運営とトイレ改修工事の状況

安全安心・良好な環境を

【調査事項②】

【調査結果概要】

給食の放射能物質の測定については、毎日全量検査をし、その結果はホームページで公表しています。これまで、給食食材における

放射性セシウムは検出されていません。

平成26年11月に各小・中学校等を現地調査した際、トイレは和式が多くを占めていた状況でした。子どもの学習・生活環境の改善、

さらには災害時の避難場所となることを考慮し、洋式トイレへの改修と、施設のバリアフリー化を早期に整備されるよう要望しています。

今回、学校給食共同調理場の運営状況の調査と、小学校トイレ改修工事の現地調査をしました。



【委員会意見】

学校給食は、引き続き安全で安心な事業運営を望みます。今後も食に対する関心が高まるような食教育環境を整備してください。

本年度における改修後の小学校トイレは、衛生的で入りやすい環境となっていました。現地調査の際、校舎の

補修や修繕を要する箇所が見受けられましたので、早急に改善されるよう要望します。

計画的実施に向けて 要望



農業農村整備交付金の予算拡充に関する要望決議

要望の趣旨

当町では、平成25年度より県営前川地区中山間地域総合整備事業を実施しております。しかし、平成26年度以降十分な予算が確保されず、事業の進捗に大幅な遅れが見込まれる状況にあり、工期の延長に伴う事業費の増大やそれに伴う地元負担金の増大、ひいては農家の生産意欲の低下すら懸念される状況にあります。

国における農業農村整備事業の予算については、平成28年度に補正予算が組まれ、平成28年度についても当初予算の拡充が見込まれると伺っておりますが、中山間地域総合整備事業が含まれる農山漁村地域整備交付金について、補正予算はゼロ、28年度予算についても27年度と同額となっております。

中山間地域は平坦地域に比較して、地形条件の関係からほ場整備等の基盤整備も遅れており、担い手への農地集積も進みにくく、また、農家の高齢化も速く、耕作放棄地の増大も懸念されております。こうしたことを解決し、TPP等の問題に対応するためにも、農地の基盤整備は欠かせないものであります。

つきましては、国・宮城県におかれまして中山間地域の実情を考慮していただき、農山漁村地域整備交付金について、十分な予算の確保を措置していただきますことを強く要望いたします。

平成28年3月10日

提出先

内閣総理大臣	安倍 晋三 殿
財務大臣	麻生 太郎 殿
農林水産大臣	森山 裕 殿
衆議院農林水産委員会	委員長 小里 泰弘 殿
参議院農林水産委員会	委員長 若林 健太 殿
衆議院議員	西村 明宏 殿
宮城県知事	村井 嘉浩 殿

宮城県川崎町議会

今から なじよする?

自然の恵に感謝



みあけ けんさん
(支倉台)

これで最後にしよう、
こんどこそ最後だと、
安住の地を探し求めて
10数年前に決めたのが
このまち、川崎町でし
た。

自然の恵を求めて、
決め手は自然に囲まれ
た四季折々の草花や景
観、それに自然食材と
澄み切った空気と星、
きよい水と森林と温泉
の資源です。
この自然の豊かさの



▲四季折々の景観

中で日々生活を送り続
けている自分に、最近
すごく満足感と同時に
疑問が生じ、これから
先これでいいのか自分
だけの幸福を感じて。
人にはそれぞれ自分
にしかできない「才能
があるはずだ。そうだ
どんな小さなことでも」
自分に出来る何かがあ
るはずです。
自然の恵に感謝する
とともに自分出来る
何かを探し出し何かを
しよう、やろうとする
決意とやらねばならな
い熱意をもって、我が
町、我が安住の地に何
かお手伝いできればと
願っています。

川崎町に住んでみて思うこと



さとう たみお さん
佐藤 民雄さん
(裏丁下)

私は白石市の出身で
す。昨年3月に結婚し、
川崎町の住民になりま
した。裏丁のアパート
に住んでいますので、
近くに食料品店、役場、
病院等があるので、生
活は実家にいるときよ
り便利になりました。

実際に住んでみて思
うことは、どこの市町
村でもそうだと思うの
ですが、商店街が閑散
としていて寂しい感じ
に思えます。飲食店も
早い時間に閉まる店が
多いので、夜に町内で
飲食するのは難しいで
す。この町は仙台から
も近く、釜房ダム・青
根温泉・湖畔公園等観

光資源も多いので、可
能性を秘めた魅力的な
町だと思えます。
自分はアパート暮ら
しのため、地域住民の
方とふれあう機会がな
いのですが、今後何
らかのあたりで地域の
方々と交流を持って、
これからのまちづくり
を考えていきたいと思
います。



▲さびしい街なか

町の風景

「川崎校前の桜並木」



撮影 コラボレーター 藤原義信氏



お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は6月7日(火)
一般質問は6月8日(水)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は3月会議9人、4月会議6人、ライブ中継は190アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 眞壁 範幸 | 眞幡 善次 | 神崎 安弘 | 佐藤 昭光 | 大沼 大名 | 沼田 長一 | 高橋 義則 |

【議会広報編集委員会】
議会情報に対する、ご意見・ご要望の投稿をお待ちしています。

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明 「ぴかぴかのいちねんせい」

「川崎小学校 入学式」にて

撮影 コラボレーター 藤原義信氏



発行 川崎町議会 編集 議会広報編集委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷